2026 年 4 月 13 日

各　位

クオールホールディングス株式会社

クオール　ローソンとの協業店舗が全国で節目となる 50 店舗に到達

～“薬局×コンビニ”モデルが全国で存在感を拡大、次のステージへ ～

クオールホールディングス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：中村 敬、以下クオール）と株式会社ローソン（本社：東京都品川区、代表取締役 社長：竹増貞信、以下ローソン）が共同で展開する協業店舗は、2026 年 4 月 13 日に出店した「ローソン中央林間二丁目店」(住所：神奈川県大和市)をもちまして、節目となる 50 店舗に到達いたしました。

50 店舗に到達できたのは、昨年創業 50 周年を迎えたローソンとの信頼関係のもと、両社が継続的に協働してきた成果です。今後も、地域にさらなる価値を提供するべく、新たな取り組みに挑戦してまいります。



ローソン中央林間二丁目店のオープン前日にはポンタもかけつけ
㈱ローソンとクオール㈱による共同でのテープカットも行われました



コンビニの中には薬局も併設され
5 月 1 日に開局予定
※写真はナチュラルローソンクオール薬局
城山トラストタワー店

■“薬局×コンビニ”が生む新しい価値と役割

2010 年より協業 1 号店である「ナチュラルローソンクオール薬局城山トラストタワー店」(住所：東京都港区虎ノ門)からスタートした協業店舗は、保険薬局とコンビニが一体化した先駆的なモデルとして、様々な方々へ利便性の高いサービスを提供してまいりました。このモデルは、忙しいビジネスパーソンから地域の皆さままで、多様な生活スタイルに対応し、近年では地域のヘルスケア拠点としての役割も果たしています。今回の 50 店舗到達は、「地域医療を支える薬局」と「生活インフラとしてのコンビニ」の融合という新たな価値の創造が、多くの患者さま・お客さまに受け入れられた結果であり、社会に着実に根付いている証といえます。

■協業モデルのさらなる進化へ

2026 年度以降も、ローソンとクオールは協業モデルを一層強化し、地域社会に向けて以下の取り組みを推進いたします。

① より身近な健康支援の拡充（健康相談・服薬フォローの強化）
② 高齢化への対応（在宅医療・地域支援の強化）
③ デジタル活用による利便性向上（処方箋送信・待ち時間対策など）
④ 災害時・緊急時に地域を支える拠点機能の向上

両社がこれまでに蓄積してきたノウハウと、これまで積み重ねてきた全国 50 店舗のネットワークを活かし、地域の生活を支える新しい価値創造を続けてまいります。

■本取り組みに該当するクオールグループのマテリアリティ（重要課題）

クオールグループは、持続可能な社会の実現へ向けて社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題に対応するため、マテリアリティを設定しています。
そのマテリアリティとして、クオールグループは「地域のクオリティ オブ ライフ向上」「新しい医療価値の創出」を掲げています。医療に携わる企業として、“あなたの、いちばん近くにある安心”をスローガンに、安心・安全な医療を提供するとともに、パートナーシップによって新しい医療価値を創出してまいります。
クオールグループのサステナビリティに関する詳細は、こちらの web サイトをご覧ください。
（https://www.qolhd.co.jp/sustainability/）



	ESG課題	マテリアリティ	重要テーマ	関連するSDGs	目標・KPI
E	・気候変動対応 ・資源循環 ・廃棄物管理	気候変動への対応	・環境負荷の低減 ・自然エネルギーの積極活用 ・医薬品の廃棄削減 ・CO_2排出量の低減 ・電力使用によるGHG排出の削減		・商品廃棄率の低減…2030年までに1.7%* ・グループ全体のGHG排出量 …2050年度末までにGHG排出量(スコープ1・2)をゼロ …2030年度末までにGHG排出量(スコープ1・2)を2023年度比で42%削減 ・レジ袋利用率…2030年までに8%以内／2050年までに5%以内* ※対象：クオール薬
S	・地域社会への貢献 ・ダイバーシティ推進 ・製品の品質と安全 ・人財育成の強化	地域のクオリティ オブ ライフ向上	・雇用創出 ・医療従事者への支援 ・次世代への教育支援 ・高齢化社会への対応 ・地域コミュニティへの貢献 ・市民向け講座の実施		・地域連携薬局数 ・専門医療機関連携薬局数 ・健康サポート薬局数 ・かかりつけ薬剤師数 ・健康イベントの開催回数
		社員のクオリティ オブ ライフ向上	・ダイバーシティの推進 ・人財開発の促進 ・ワークライフバランス推進 ・福利厚生、労働環境の多様化 ・DX推進による人財の有効活用		・女性管理職比率　2030年までに50%* ・男性育休取得率 ・二次検診受診率 ・えるぼし・健康経営の認定継続* ※対象：クオール薬
		持続的な医療による クオリティ オブ ライフへ貢献	・サプライチェーン管理の強化 ・医療継続を実現する組織力の強化 ・総合ヘルスケア支援の進化		・安否確認訓練報告率…100% ・止水板による浸水対策 ・BCPの継続改善、実践力の強化 ・電子おくすり手帳
G	・透明性のある経営と 情報開示 ・コンプライアンスの 徹底	新しい医療価値の創出	・パートナーシップ事業展開 ・医療・ヘルスケア分野における新たなソリューションの創出		・電子処方箋利用率 ・オンライン服薬指導実施率
		コーポレート・ガバナンスの強化	・取締役会の実効性強化 ・コンプライアンス強化 ・適切な情報開示と透明性の確保 ・情報セキュリティの強化 ・BCPの確立		・社外取締役数 ・女性取締役数 ・取締役会評価点数

クオールグループが掲げる６つのマテリアリティ（重要課題）

クオールは、今後も医療に携わる企業として、“あなたの、いちばん近くにある安心”をスローガンに、皆さまの安心な暮らしを引き続き支えてまいります。

【本件開示に関するお問い合わせ】
クオールホールディングス株式会社　広報部
Tel：03-6430-9060（お問い合わせ受付時間：平日 9 時～18 時）

以　上